

## 令和 4年度 管理事業評価調書( 4年度対象)

事業コード	6510	事業名	公安委員会運営事業			
所属名	愛知県警察本部総務部 総務課公安委員会室	評価責任者	総務課長 景山 健治			
		作成責任者	山本 和尚	ダイヤルイン	052-951-1611(2628)	
政策名	治安の維持	施策名	公安委員会の適正な運営			
事業目的	愛知県公安委員会の設置、運営にかかる庶務を行うこと					
根拠法令・計画等	警察法					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	5人( 0人)	5人( 0人)	5人( 0人)	5人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)
	経費	人件費(a)	65,890 千円	67,164 千円	62,894 千円	63,628 千円
		事業費(b)	1,787 千円	1,675 千円	935 千円	1,005 千円
		公債費(c)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		計(a)+(b)+(c)	67,677 千円	68,839 千円	63,829 千円	64,634 千円
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
経費のうち、一般財源等		67,677 千円	68,839 千円	63,829 千円	64,634 千円	
事業計画の内容及び事業費の内訳	定例会議の開催、全国公安委員会連絡会議や中部公安委員会連絡会議等への出席 1 運営費:1,787千円					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	公安委員会の開催回数	最終目標	公安委員会の適切な開催	
				4年度	38回以上	38回以上 (見込)
				3年度	40回以上	44回 (実績)
		2	全国会議等への出席率	最終目標	全国会議等への積極的な参加	
				4年度	90%以上	90%以上 (見込)
				3年度	90%以上	90%以上 (実績)
		3	県民当たりコスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標	-	
				4年度	-	- (見込)
				3年度	-	9円 (実績)
	4		最終目標			
					(見込)	
	5		最終目標			
					(実績)	
	外部要因等	なし。				
目的の達成に関する評価	B:目標達成(判断の理由) ◎主な指標:1(理由:委員会の設置目的を達成するために不可欠な会議の運営に関わる指標であるため) ・公安委員会運営事業を適切に行うことができ、全国会議等(リモート)も出席することができた。 ・3年度の定例公安委員会開催数は、目標を達成しており、事業運営に問題はなかった。					
コスト指標の増減分析	3年度の県民1人当たりコストは2年度と増減なし。					
課題	なし。					
今後の方向性	引き続き、公安委員会を適切に運営する。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 4年度 管理事業評価調書(4年度対象)

事業コード	6520	事業名	警察総務事業																		
所属名	愛知県警察本部総務部会計課	評価責任者	会計課長 鯉江 典之																		
		作成責任者	山本 和尚	ダイヤルイン	052-951-1611(2628)																
政策名	治安の維持	施策名	警察総務事業の推進																		
事業目的	警察施設の維持管理、各種情報システムの運用等																				
根拠法令・計画等	警察法																				
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)																
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度															
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	1,658人( 1人)	1,688人( 3人)	1,688人( 3人)	1,704人( 4人)															
		非常勤職員(うち地方機関分)	622人( 2人)	616人( 0人)	616人( 0人)	616人( 0人)															
	経費	人件費(a)	18,096,193 千円	18,556,849 千円	17,222,799 千円	17,210,189 千円															
		事業費(b)	6,355,823 千円	6,045,526 千円	5,849,971 千円	5,942,475 千円															
		公債費(c)	387,442 千円	389,219 千円	389,422 千円	391,048 千円															
		計(a)+(b)+(c)	24,839,458 千円	24,991,594 千円	23,462,192 千円	23,543,712 千円															
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		2,552,537 千円	2,461,710 千円	0 千円	0 千円																
経費のうち、一般財源等		19,987,658 千円	20,011,958 千円	21,204,710 千円	22,230,363 千円																
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>県民の方々に警察行政に係るサービス等を滞ることなく提供するため、警察施設の維持管理、各種情報処理システムの運用等を行う。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 救慰金等:1,900千円</td> <td style="width: 50%;">9 警察運営費:160,124千円</td> </tr> <tr> <td>2 協力援助者補償費:11,160千円</td> <td>10 ノットロールカー動態管理システム運営費:184,968千円</td> </tr> <tr> <td>3 少年補導職員等設置費:98,913千円</td> <td>11 警察広報費:8,892千円</td> </tr> <tr> <td>4 被服購入費:828,938千円</td> <td>12 地震災害警備対策費:12,771千円</td> </tr> <tr> <td>5 職員健康管理費:121,121千円</td> <td>13 愛知県防犯協会連合会補助金:892千円</td> </tr> <tr> <td>6 警察本部庁舎管理費:576,363千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 警察署等管理費:1,791,130千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 情報処理費:2,558,651千円</td> <td></td> </tr> </table>					1 救慰金等:1,900千円	9 警察運営費:160,124千円	2 協力援助者補償費:11,160千円	10 ノットロールカー動態管理システム運営費:184,968千円	3 少年補導職員等設置費:98,913千円	11 警察広報費:8,892千円	4 被服購入費:828,938千円	12 地震災害警備対策費:12,771千円	5 職員健康管理費:121,121千円	13 愛知県防犯協会連合会補助金:892千円	6 警察本部庁舎管理費:576,363千円		7 警察署等管理費:1,791,130千円		8 情報処理費:2,558,651千円	
1 救慰金等:1,900千円	9 警察運営費:160,124千円																				
2 協力援助者補償費:11,160千円	10 ノットロールカー動態管理システム運営費:184,968千円																				
3 少年補導職員等設置費:98,913千円	11 警察広報費:8,892千円																				
4 被服購入費:828,938千円	12 地震災害警備対策費:12,771千円																				
5 職員健康管理費:121,121千円	13 愛知県防犯協会連合会補助金:892千円																				
6 警察本部庁舎管理費:576,363千円																					
7 警察署等管理費:1,791,130千円																					
8 情報処理費:2,558,651千円																					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込																
		1	情報システムを常時良好な状態に保つよう維持管理を適切に実施	最終目標	情報システムの円滑な運用																
				4年度	ウイルス感染0件	ウイルス感染0件 (見込)															
				3年度	ウイルス感染0件	ウイルス感染0件 (実績)															
		2	警察施設を良好な状態に保つよう維持管理を適切に実施	最終目標	警察施設の適正な維持管理																
				4年度	良好な状態で維持	良好な状態で維持 (見込)															
				3年度	良好な状態で維持	良好な状態で維持 (実績)															
		3	県民当たりコスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標	-																
				4年度	-	- (見込)															
				3年度	-	3,066円 (実績)															
	4		最終目標																		
					(見込)																
					(実績)																
	5		最終目標																		
					(見込)																
				(実績)																	
外部要因等	なし。																				
目的の達成に関する評価	B:目標達成 (判断の理由) ◎主な指標:2(理由:県民の様々な要望に的確に応えていくためには、警察施設の適切な維持管理が不可欠であるため。) ・警察総務事業を適切に行うことができた。 ・情報システム及び警察施設を良好な状態に保つことができた。																				
コスト指標の増減分析	3年度の県民当たりコストは、情報処理費等が減少したこと等により2年度3,143円比べ77円減少した。																				
課題	警察施設の老朽化が進んでおり、施設の維持管理に影響を及ぼすことが懸念される。																				
今後の方向性	引き続き、警察施設の適正な維持管理に努める。																				

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 4年度 管理事業評価調書(4年度対象)

事業コード	6530	事業名	警察施設事業			
所属名	愛知県警察本部総務部施設課	評価責任者	施設課長 渡邊 英一			
		作成責任者	山本 和尚	ダイヤルイン	052-951-1611(2628)	
政策名	治安の維持	施策名	警察施設強靱化のための計画的な施設整備			
事業目的	治安維持及び災害対策の拠点である警察本部、警察署等施設の維持管理					
根拠法令・計画等	警察法					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	42人( 0人)	39人( 0人)	39人( 0人)	37人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)
	経費	人件費(a)	406,209 千円	381,014 千円	365,707 千円	347,324 千円
		事業費(b)	4,753,849 千円	7,213,038 千円	6,394,552 千円	2,855,834 千円
		公債費(c)	2,357,401 千円	2,252,781 千円	2,337,336 千円	2,209,019 千円
		計(a)+(b)+(c)	7,517,459 千円	9,846,833 千円	9,097,595 千円	5,412,176 千円
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		216,926 千円	315,053 千円	114,900 千円	128,699 千円	
経費のうち、一般財源等		6,533,280 千円	8,765,174 千円	2,993,453 千円	761,194 千円	
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>警察本部、警察署等施設の維持管理、整備等のため、建て替え工事等を行う。</p> <p>1 津島警察署整備費:872,219千円                  2 豊川警察署整備費:1,366,984千円                  3 岡崎警察署整備費:94,068千円                  4 半田警察署整備費:251,581千円                  5 一宮警察署整備費:110,302千円                  6 交番駐在所建築費:441,727千円                  7 運転免許試験場整備等事業費:67,620千円                  8 庁舎営繕費:1,549,348千円</p>					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1 警察署建替に向けた設計等の実施	最終目標	設計完了		
			4年度	半田警察署基本実施設計完了 一宮警察署基本実施設計30%	半田警察署基本実施設計完了 一宮警察署基本実施設計30%	(見込)
			3年度	岡崎警察署基本実施設計完了 半田警察署基本実施設計30%	岡崎警察署基本実施設計完了 半田警察署基本実施設計30%	(実績)
		2 設計等が完了した警察署の建替工事の進捗率	最終目標	整備事業完了		
			4年度	津島警察署庁舎建築完了 豊川警察署庁舎建築78.6%	津島警察署庁舎建築完了 豊川警察署庁舎建築78.6%	(見込)
			3年度	高島警察署庁舎建築72% 豊川警察署庁舎建築5%	高島警察署庁舎建築72.49% 豊川警察署庁舎建築5.78%	(実績)
		3 交番等施設の整備	最終目標	交番・駐在所施設の整備		
			4年度	9箇所	9箇所	(見込)
			3年度	13箇所	12箇所	(実績)
		4 県民コスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標	-		
			4年度	-	-	(見込)
			3年度	-	445円	(実績)
		5	最終目標			
						(見込)
				(実績)		
外部要因等	なし。					
目的の達成に関する評価	C:相当程度進展あり (判断の理由) ◎主な指標:2(理由:警察署は、治安維持及び災害対策の拠点として重要な施設であるため。) ・警察施設事業を概ね適切に行うことができた。 ・予期せぬ地中埋没物の発見や新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う資材不足により、一部事業は計画遅延したものの、概ね予定通り整備できた。					
コスト指標の増減分析	3年度の県民当たりコストは、建築工事費が増加したこと等により2年度443円比べ2円増加した。					
課題	警察施設の老朽化及び狭隘化が進んでいるため、今後とも計画的に施設を整備していく必要がある。					
今後の方向性	引き続き、警察施設の計画的な整備に努める。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 4年度 管理事業評価調書( 4年度対象)

事業コード	6540	事業名	運転免許事業				
所属名	愛知県警察本部交通部 運転免許課	評価責任者	運転免許課長 稲垣 賀史				
		作成責任者	山本 和尚	ダイヤルイン	052-951-1611(2628)		
政策名	治安の維持		施策名	運転免許事務の円滑な遂行			
事業目的	運転免許の取得、更新及び講習等にかかる事務の実施						
根拠法令 ・計画等	道路交通法						
従事人員 ・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)		
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	199人( 0人)	207人( 0人)	207人( 0人)	195人( 0人)	
		非常勤職員(うち地方機関分)	28人( 0人)	27人( 0人)	27人( 0人)	27人( 0人)	
	経費	人件費(a)	2,062,071 千円	2,146,934 千円	2,029,372 千円	1,917,251 千円	
		事業費(b)	4,143,696 千円	4,069,055 千円	3,781,493 千円	3,779,449 千円	
		公債費(c)	25,028 千円	25,314 千円	25,343 千円	25,618 千円	
		計(a)+(b)+(c)	6,230,795 千円	6,241,303 千円	5,836,208 千円	5,722,319 千円	
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		4,280,719 千円	4,193,322 千円	5,936,810 千円	5,830,752 千円		
経費のうち、一般財源等		1,949,686 千円	2,047,621 千円	△100,910 千円	△134,253 千円		
事業計画の 内容及び事業費の内訳	運転免許の取得、更新、講習等に係る事務等を行う。 1 運転免許試験場運営費:1,879,593千円 2 東三河運転免許センター運営費:37,023千円 3 運転免許取得時講習費:22,239千円 4 運転免許更新業務費:2,190,838千円 5 指定自動車教習所指導者講習委託費:14,003千円						
評価	指標 ／ 目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込		
		1	人身事故件数の減少	最終目標	適切な運転免許関係講習の実施による人身事故の減少		
				4年度	24,000件以下	24,000件以下	(見込)
				3年度	24,000件以下	23,758件	(実績)
		2	高齢者の免許更新時における 受検・受講待ち期間の短縮	最終目標	高齢者の免許更新の円滑化		
				4年度	前年度より短縮	前年度より短縮	(見込)
				3年度	前年度より短縮	8.8日短縮	(実績)
		3	県民当たりコスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標		-	
				4年度	-	-	(見込)
				3年度	-	884円	(実績)
	4		最終目標			(見込)	
						(実績)	
	5		最終目標			(見込)	
						(実績)	
	外部 要因 等	なし。					
目的の 達成に 関する 評価	B:目標達成 (判断の理由) ◎主な指標:1(理由「人身事故件数の減少」は、県警察の最重要課題である「交通死亡事故の抑止」に大きく関わるため。) ・運転免許事業を適切に行うことができた。 ・人身事故件数を減少させ、また、高齢者の免許更新時における受検・受講待ち期間を短縮させることができた。						
コスト 指標の 増減 分析	3年度の県民当たりコストは、人件費が増加したこと等により2年度805円比べ79円増加した。						
課題	今後も70歳以上の高齢運転者の運転免許人口が増加傾向にあることから、高齢者の運転免許更新に係る利便性の向上や高齢者講習等の予約方法の合理化が課題である。						
今後の 方向性	引き続き、適正な運転免許事務に努めるとともに、運転免許更新に係る体制を整備して、更新手続きの円滑化と利便性の向上を図る。						

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

## 令和 4年度 管理事業評価調書( 4年度対象)

事業コード	6550	事業名	恩給及び退職年金費				
所属名	愛知県警察本部警務部厚生課	評価責任者	厚生課 林 尚美				
		作成責任者	山本 和尚	ダイヤルイン	052-951-1611(2628)		
政策名	治安の維持		施策名	恩給及び退職年金の適正な執行			
事業目的	恩給又は扶助料の支給						
根拠法令・計画等	恩給法						
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)		
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	1人 ( 0人)	1人 ( 0人)	1人 ( 0人)	1人 ( 0人)	
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人 ( 0人)	0人 ( 0人)	0人 ( 0人)	0人 ( 0人)	
	経費	人件費(a)	124,317 千円	146,187 千円	137,590 千円	161,016 千円	
		事業費(b)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		公債費(c)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		計(a)+(b)+(c)	124,317 千円	146,187 千円	137,590 千円	161,016 千円	
収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
経費のうち、一般財源等		124,317 千円	146,187 千円	137,590 千円	161,016 千円		
事業計画の内容及び事業費の内訳	支給対象者への恩給又は扶助料の支給に係る事務を行う。						
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込		
		1	恩給・扶助料の過払い件数	最終目標	恩給等の適正な執行		
				4年度	0件	0件	(見込)
				3年度	0件	0件	(実績)
		2	県民当たりコスト (PL経常費用/本県人口)	最終目標	-		
				4年度	-	-	(見込)
				3年度	-	18円	(実績)
		3		最終目標			
							(見込)
		4		最終目標			
						(実績)	
	5		最終目標				
						(見込)	
	外部要因等	なし。					
		目的の達成に関する評価	B:目標達成(判断の理由) ◎主な指標:1(理由:管理事業全体の達成度を評価するに際し、最も適した指標のため) ・恩給及び退職年金費を適切に執行することができた。 ・支給対象者に恩給及び扶助料を適正に処理支給することができた。				
コスト指標の増減分析		3年度の県民当たりコストは、人件費が減少したこと等により2年度21円比べ3円減少した。					
課題		なし。					
今後の方向性		引き続き、恩給及び扶助料の適正な支給に努める。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 4年度 管理事業評価調書(4年度対象)

事業コード	6560	事業名	警察活動事業																													
所属名	愛知県警察本部総務部会計課	評価責任者	会計課長 鯉江 典之																													
		作成責任者	山本 和尚	ダイヤルイン	052-951-1611(2628)																											
政策名	治安の維持	施策名	犯罪の抑止、交通死亡事故の抑止及び暴力団対策																													
事業目的	犯罪の抑止、交通死亡事故の抑止及び弘道会を中心とした暴力団の壊滅に向けた対策の強化																															
根拠法令・計画等	警察法、警察官職務執行法、刑法、刑事訴訟法、道路交通法																															
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)																											
			4年度(当初)	3年度(当初)	3年度	2年度																										
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	12,599人(9,751人)	12,564人(9,739人)	12,564人(9,739人)	12,562人(9,737人)																										
		非常勤職員(うち地方機関分)	1人(0人)	2人(0人)	2人(0人)	1人(0人)																										
	経費	人件費(a)	122,012,165千円	122,901,555千円	120,127,000千円	119,764,000千円																										
		事業費(b)	15,977,700千円	15,759,934千円	14,977,704千円	14,742,785千円																										
		公債費(c)	1,245,100千円	1,168,991千円	1,237,295千円	1,197,275千円																										
		計(a)+(b)+(c)	139,234,965千円	139,830,480千円	136,341,999千円	135,704,061千円																										
収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		2,455,377千円	2,349,191千円	3,081,585千円	3,066,959千円																											
経費のうち、一般財源等		130,279,875千円	131,040,872千円	125,656,225千円	123,602,757千円																											
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>治安を維持するため、警察活動を行う。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1 基本経費:1,614,952千円</td> <td style="width: 33%;">9 生活安全少年活動費:23,972千円</td> <td style="width: 33%;">17 道路使用状況調査委託費</td> </tr> <tr> <td>2 人事教養費:57,234千円</td> <td>10 街頭犯罪対策費:41,515千円</td> <td style="text-align: right;">:29,954千円</td> </tr> <tr> <td>3 留置管理費:363,463千円</td> <td>11 交通指導取締費:1,189,246千円</td> <td>18 警察官装備費:330,791千円</td> </tr> <tr> <td>4 犯罪被害者支援費:12,716千円</td> <td>12 交通安全教育費:368,543千円</td> <td>19 警察車両等維持費:2,407,921千円</td> </tr> <tr> <td>5 地域活動費:140,014千円</td> <td>13 交通安全施設整備費:7,307,851千円</td> <td>20 暴力団離脱者社会復帰支援費</td> </tr> <tr> <td>6 犯罪捜査活動費:927,783千円</td> <td>14 パーキングメーター等運営費:143,059千円</td> <td style="text-align: right;">補助金:1,000千円</td> </tr> <tr> <td>7 鑑識活動費:189,361千円</td> <td>15 交通反則通告費:32,832千円</td> <td>21 自動車安全運転センター補助金</td> </tr> <tr> <td>8 保安活動費:99,353千円</td> <td>16 自動車保管場所適正化推進費</td> <td style="text-align: right;">:1,148千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">:694,992千円</td> </tr> </table>					1 基本経費:1,614,952千円	9 生活安全少年活動費:23,972千円	17 道路使用状況調査委託費	2 人事教養費:57,234千円	10 街頭犯罪対策費:41,515千円	:29,954千円	3 留置管理費:363,463千円	11 交通指導取締費:1,189,246千円	18 警察官装備費:330,791千円	4 犯罪被害者支援費:12,716千円	12 交通安全教育費:368,543千円	19 警察車両等維持費:2,407,921千円	5 地域活動費:140,014千円	13 交通安全施設整備費:7,307,851千円	20 暴力団離脱者社会復帰支援費	6 犯罪捜査活動費:927,783千円	14 パーキングメーター等運営費:143,059千円	補助金:1,000千円	7 鑑識活動費:189,361千円	15 交通反則通告費:32,832千円	21 自動車安全運転センター補助金	8 保安活動費:99,353千円	16 自動車保管場所適正化推進費	:1,148千円			:694,992千円
1 基本経費:1,614,952千円	9 生活安全少年活動費:23,972千円	17 道路使用状況調査委託費																														
2 人事教養費:57,234千円	10 街頭犯罪対策費:41,515千円	:29,954千円																														
3 留置管理費:363,463千円	11 交通指導取締費:1,189,246千円	18 警察官装備費:330,791千円																														
4 犯罪被害者支援費:12,716千円	12 交通安全教育費:368,543千円	19 警察車両等維持費:2,407,921千円																														
5 地域活動費:140,014千円	13 交通安全施設整備費:7,307,851千円	20 暴力団離脱者社会復帰支援費																														
6 犯罪捜査活動費:927,783千円	14 パーキングメーター等運営費:143,059千円	補助金:1,000千円																														
7 鑑識活動費:189,361千円	15 交通反則通告費:32,832千円	21 自動車安全運転センター補助金																														
8 保安活動費:99,353千円	16 自動車保管場所適正化推進費	:1,148千円																														
		:694,992千円																														
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込																											
		1	刑法犯認知件数	最終目標	安全に安心して暮らせる社会の実現																											
				4年度	前年より減少	前年より増加 (見込)																										
				3年度	前年より減少	前年より減少 (実績)																										
		2	交通事故死者数	最終目標	交通死亡事故の絶無																											
				4年度	116人以下	116人以下 (見込)																										
				3年度	148人以下	117人 (実績)																										
		3	交通安全施設整備	最終目標	安全で円滑な交通環境の実現																											
				4年度	歩車分離式信号を60か所以上整備	歩車分離式信号を60か所以上整備 (見込)																										
				3年度	歩車分離式信号を60か所以上整備	歩車分離式信号を69か所整備 (実績)																										
		4	県民当たりコスト(PL経常費用/本県人口)	最終目標	-																											
				4年度	-	- (見込)																										
				3年度	-	18,055円 (実績)																										
		5		最終目標																												
						(見込)																										
				(実績)																												
外部要因等	なし。																															
目的の達成に関する評価	<p>A:目標達成(判断の理由)</p> <p>◎主要な指標:2(理由:交通事故死者数は、昨年全国ワースト1位を返上したものの、依然として、交通死亡事故が多発しており、県民の関心が高く、治安の維持に向けた重要な課題であるため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察活動事業を適切に行うことができた。</li> <li>・刑法犯認知件数及び交通事故死者数、交通安全施設整備のいずれも目標を達成することができた。</li> </ul>																															
コスト指標の増減分析	3年度の県民当たりコストは、犯罪捜査活動費が増加したこと等により2年度17,634円比で421円増加した。																															
課題	なし。																															
今後の方向性	犯罪及び交通死亡事故の抑止のため、引き続き、各種対策を強力に推進していく。																															

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。